

ニュース

日本コエンザイムQ協会が発足

知識普及と研究奨励

補剤としての期待高まる

昨年4月の食薬区分で
食品として扱われるよう

になったCoQ10の正し
い知識の普及と科学的研

究の奨励を行
うことを目的

とした日本コ
エンザイムQ
協会が11月1
日、発足記者
会見を開催し
た。

同協会の山
本順寛理事長
はCoQ10を
「高齢化社会
の切り札」と
して位置付け

研究を行い、食品として
認可されたことを機に広
く一般にCoQ10の必要
性を訴えたいと強調し
た。

また「CoQ10は気力
と体力を補う大いなる補
剤で、全人的医療の中で
活用するべきだ」と話し
た。

また先日、14%の視聴
率を獲得した「クローズ
アップ現代」で反響の高
さを実感し、国際コエン
ザイムQ協会で日本支部
設立を提案したことも明
らかにした。

続いて講演した日本コ
エンザイムQ協会の永田
勝太郎理事はこれまで26
年間にわたって20万人以

上の患者にCoQ10を与
え続けてきたことやこれ
まで個人輸入してきた、
CoQ10が誰でも簡単に
入手できるようになった
ことをうれしく思うとコ
メント。

来年の2月28日に海外
から講師を招いて第一回
目の学術総会を開催する
予定になっている。

記者会見に臨む協会理事。

